

ひとを育むまち

【基本施策4】
心とからだ育成プロジェクト

⑥	事務事業名	事務事業の内容	R2年度 総事業費 (実績値)	R2年度 (単位：千円)		R3年度 総事業費 (実績値)	R3年度 (単位：千円)		R4年度 総事業費 (見込値)	R4年度 (単位：千円)		優先順位
				事業費	人件費		事業費	人件費		事業費	人件費	
施策構成 事務事業	1	特別支援教育総合推進事業	700	0	700	700	0	700	700	0	700	1
						700	0	700				1
	2											
	3											
	4											
	5											
	6											
	7											
	8											
	9											
	10											
	11											
	12											
	13											
	14											
15												

上段：見込値
下段：実績値

⑦

施策全体の今後の方針と展望

保・幼・小・中間の「段差」の解消に取り組み、様々な面から、就学前教育の推進、就学前教育と小学校教育の円滑な接続、小・中一貫した教育の推進を図ります。そのために、教員等の相互交流や連携を強化するとともに、授業体験や部活動体験、保育士体験等、子ども相互の交流を進めます。また、地域の子どもを地域で育てていくために、保護者・地域の方にも子どもたちの健全育成に関わっていただくことにより、地域ぐるみの子育ての輪を広げ、子どもたちに地域を愛し、地域のために活動しようとする心情や態度を育成していきます。

⑧

総合計画審議会からの意見及び指摘事項等

施策評価シート《マネジメントシート》

施策名	学校教育の充実		
施策の体系	基本目標	ひとを育むまち	施策の担当課名
	基本施策	心とからだ育成プロジェクト	関係課名
	施策コード	B-4-2	シート作成者名

①	<p>少子高齢化、情報化、グローバル化が一段と進展する、変化の激しい社会の中で、子どもたちは逞しく生きていく力を身につけていかなければなりません。そのため、小・中学校では、子どもの「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育成し、その力が日常生活の中で生かされるよう、発達段階に応じた、様々な体験を積み重ね、自ら学び、考え、行動できるような「生きる力」をもった子どもの育成が喫緊の課題となってきています。学校の教育活動全体を通して、子どもたちのコミュニケーション能力、思考力・判断力・表現力の育成を図るために、小中一貫した教育を重点に、小学校段階から、将来を見据えた「キャリア教育」を推進していかなければなりません。併せて、体験活動と関連づけ、道徳教育、心の教育を充実していくことも不可欠です。</p> <p>これまで、特別支援教育の推進については、平成25年度に特別支援教育相談室を設置し、アシスタントティーチャー（※1）も年々増員し、令和1年度には29名を配置しました。英語教育については、年々、外国語指導員を増員（令和2年度9名）し、英語小学校高学年の外国語科及び小学校低学年の外国語活動の本格実施を踏まえ、担任と外国語指導員のチームティーチングによる授業形態の工夫を行っています。今後は、ICT教育（情報モラル教育）や防災教育等、今日的課題に応じた教育も推進し、これからの未来を逞しく生きていく子どもたちを育てていくことも重要です。</p> <p>一方、これからの、学校・家庭・地域社会は、それぞれの役割と責任を持って、様々な課題に取り組むことが求められています。中でも、学校は、保護者の願いを受け止め、地域と連携しながら、「子どもにとって楽しい学校」「保護者にとって、子どもが安心して学べる学校」を目標に、特色ある教育活動を行っていく必要があります。そのため、学校評価・学校関係者評価を充実させ、結果の公表と併せ、信頼される学校づくりを推進していかなければなりません。</p> <p>一方、児童生徒の学習、生活の場である学校施設については、老朽化が進行し、維持管理上の懸案事項も多く抱えているのが実情です。また、時代の変化に伴う課題として、トイレ便器の洋式化（平成29年度 17/17校改修済）、温暖化現象による平均気温の上昇に伴う教室環境の改善（平成30年度 13/17校整備済）などが挙げられます。これらのことから、老朽化への対応として、計画的に施設整備を進めていくことが必要となります。平成26年4月に供用開始した「防災食育センター」において、安心・安全でおいしい学校給食を安定的に提供するとともに、栄養教諭と連携した食育を充実させることが必要です。</p> <p>（※1）アシスタントティーチャー・・・小中学校で、特別な支援を必要とする児童生徒に対し、個の教育的ニーズに応じた学習面・生活面の支援を行う補助者 （※2）インクルーシブ教育・・・同じ場で共に学ぶことを追求するとともに、個別の教育的ニーズのある児童生徒に対して、教育的ニーズに最も的確に答える指導を提供できる多様で柔軟な仕組み （※3）特別支援教育アドバイザー・・・発達障害を含む障害のある幼児、児童及び生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援の在り方等について、教員や保護者に助言・援助を行う専門家 （※4）スクール・ソーシャル・ワーカー・・・子どもに影響を及ぼしている家庭・学校・地域環境の改善に向けて、学校・家庭・地域の支援ネットワークを築く福祉の専門家</p>
②	<p>子どもたちの「生きる力」を育むため、学校教育を中心に、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成を図るとともに、一人一人の個性を伸ばす教育、心の教育の充実を進めます。また、小中一貫した教育、キャリア教育、英語教育、ICT教育等を積極的に推進し、子どもたちのコミュニケーション能力を高めるとともに、子どもたちが地域を愛し、地域のよさを世界に発信できるようにします。並行して、家庭・地域との連携を深めながら、地域に信頼される、特色ある学校づくりを推進します。</p> <p>そして、安全で快適な教育環境を確保するため、「行橋市公立学校施設整備総合計画」に基づき、計画的な整備を進めます。</p>

施策の内容 (主要施策)	主要施策名(8)	キャリア教育の推進
		社会的・職業的自立に向け、小学校段階から、「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」を育成します。また、中学校での職場体験等の活動を通して、望ましい勤労観・職業観を身につけさせます。
	主要施策名(9)	快適な教育環境をめざす教育施設の整備・充実
		安全で快適な教育環境を確保するため、「行橋市公立学校施設整備総合計画」に基づき、空調整備、体育館・校舎屋上防水改修等を計画的に進めます。
	主要施策名(10)	安全・安心な学校給食の提供と食育の推進
		安全・安心な学校給食を提供しながら、市内小中学校と連携し、児童生徒に正しい食育を推進するよう努めます。また、給食調理教室等を開催し、保護者等に対しても学校給食ならびに正しい食育に対する理解を深めるよう努めます。

③	<p>主要施策名(1)</p> <p>時代に即応した教育活動の推進及び教育ICT環境の整備</p> <p>児童生徒の実態を踏まえ、指導内容・方法の工夫改善を図るとともに、ICT機器等を活用し、主体的・対話的で深い学びを目指す授業づくりを進めるとともに、子どもと向き合う時間を確保するために、校務支援システム等を活用した教育のデジタル化を進めます。</p> <p>主要施策名(2)</p> <p>グローバル社会や情報社会、今日的課題に対応できる資質や能力の育成</p> <p>英語教育、ICT教育の充実を図るとともに、今日的課題である防災教育、情報モラル教育、安全教育等を一層推進します。</p> <p>主要施策名(3)</p> <p>いじめ・不登校問題等への対応</p> <p>未然防止の取組みを徹底するとともに、早期発見・早期対応の更なる推進を図ります。また、心の専門家の活用、児童生徒相談センターや適応指導教室の充実を進め、体系的な支援体制の構築及び関係機関との連携強化を進めます。</p> <p>主要施策名(4)</p> <p>教職員研修の充実</p> <p>経験年数や職能に応じた研修会の内容を充実させるとともに、若年教員を対象とした研修会や小中合同の研修会、今日的課題に対応した研修会を計画的に実施します。また、市独自の研究指定委嘱や教育研究所等の教育研究を通して、指導力向上に努めます。</p> <p>主要施策名(5)</p> <p>個別の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進</p> <p>インクルーシブ教育（※2）の構築に向け、一貫した系統性のある教育支援体制づくりを進めます。また、特別支援教育アドバイザー（※3）やアシスタントティーチャー等の活用により、個に応じた指導・支援の充実を努めます。</p> <p>主要施策名(6)</p> <p>信頼される学校づくり（コミュニティスクール）の推進</p> <p>地域とともにある学校づくりを進めていくために、学校・家庭・地域の代表者等が、学校運営について議論する「学校運営協議会」の設置を推進し、学校、家庭、地域が、地域としてどのような子どもたちを育てていくのか、何を実現していくのかという目標やビジョンを共有した上で、連携・協働し、それぞれが役割と責任を持って、地域全体で活動を行います。</p> <p>主要施策名(7)</p> <p>小中一貫した教育の推進</p> <p>「郷土科」「コミュニケーション科」を中心に、小中9年間を見通した教育活動を推進します。また、中学校区ごとに、教師間交流や児童生徒間交流、そして小交流を積極的に進めます。</p>
---	---

④	目標指標	指標名(単位)	基準値	過年度実績					評価年度	達成度の説明（R3年度）
				H27年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		校務支援システムの導入校数(校)	6	6	17	17	17	17	17	令和元年度に小中学校全校へ導入が完了しており、システムの活用推進段階に入っている。システムのバージョンアップに伴う新規機能の周知を行い、効率的な活用を図った。
		ICT教育環境の整備校数(校)	2	9	17	17	17	17	17	小中学校全校にタブレット追加配備及び校内高速LAN整備等のICT環境整備を行い、1人1台端末の環境が整った。
		「中学生英語宿泊体験」参加生徒数(人)	46	47	46	48	0	30	0	令和3年度は令和2年度に続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、未実施となった。次年度以降、感染症予防を考慮した参加人数を検討し、実施に向けて調整を行う。
		スクール・ソーシャル・ワーカー（※4）の配置人数(人)	1	2	2	2	2	3	2	29年度からスクール・ソーシャル・ワーカーの配置を1名増員し、2名体制とすることができた。
		アシスタントティーチャー配置人数(人)	22	28	29	30	30	35	32	アシスタントティーチャー30名体制を維持することができたが、今後増員を図ってきたい。
		コミュニティスクール設置校数(校)	0	1	1	1	1	累計5	5	令和3年度当初に、新規に4校に学校運営協議会を設置した。本年度は、令和4年度当初での残りの12校について設置に向けた準備を行う。
		中学校職場体験の新規職種数(数)	0	1	2	2	2	累計10	2	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度は事業を実施できなかった。
		空調設備設置学校数(校)	7	12	13	17	17	17	17	市内17校に空調設備が整ったので、適切な維持管理と老朽化した空調設備の修繕や更新を計画する。
		屋上防水改修事業の進捗率(%)	13	57	65	69	84	100	100	年次計画に基づき学校の屋上防水改修工事及び実施設計を行い、ほぼ目標とおりの進捗率を達成できた。

上段：目標値、下段：実績値

⑤ 各主要施策の進捗状況及び課題等	主要施策名(1) 時代に即応した教育活動の推進及び教育ICT環境の整備
	昨年度の事業進捗状況
	令和3年度はGIGAスクール構想の前倒しにより、市内小中学校全校で1人1台端末の環境が整ったことから、学校での活用に加え、持ち帰りの推進を図った。また、コロナ禍におけるオンライン授業の支援等を行い、登校できない児童生徒の学習の保障を行った。校務支援システムについては、成績処理等活用が進み、情報管理についても活用が進んでいる。
	残された課題・今後必要な取り組み
	令和3年度は、新型コロナウイルスの影響もあり、オンライン授業等でのICT機器の活用は進んだが、学校または教員間で活用状況に差が出ている。また、活用頻度の増加に伴い、ネットワークやICT機器に不具合が発生した。今後、ソフト面においては、スキルの高上げや、ICT機器の活用方法の理解を深め、個人差を縮める取組が必要である。ハード面においては、ネットワークの改善や劣化した機器の更新などを行い、いつでも活用できる環境を整えることが必要である。
	主要施策名(2) グローバル社会や情報社会、今日的課題に対応できる資質や能力の育成
	昨年度の事業進捗状況
	英語教育、ICT教育に係る人的配置、物的整備等の推進体制を整備することができた。また、防災教育、情報モラル教育、安全教育等を年間カリキュラムに位置づけ、計画的に実施することができた。
	残された課題・今後必要な取り組み
	各教育活動のねらいを明確にし、子どもの発達段階に応じて系統的に実施する必要がある。ALTの配置により比較的英語教育環境は充実しており、その成果が出ているが、反面ALT任せになっている場面もあるため、ICTの活用で効果的に英語教育を行うなど、多様な教育方法を検討する必要がある。
	主要施策名(3) いじめ・不登校問題等への対応
	昨年度の事業進捗状況
	心の専門家の活用(SSW、SC)や児童生徒相談センター及び適応指導教室の機能が充実したことで、体系的な支援体制の構築及び関係機関との連携強化が図られ、未然防止や早期発見・早期対応につながった。
	残された課題・今後必要な取り組み
	いじめ・不登校問題等の要因が多様化していることから、子どもの思いや願いに迫り、より根本的な解決策を見出すことができるように、SSW、SCの増員、関係機関との連携、学校と家庭・地域のつながりを強めることが必要である。
主要施策名(4) 教職員研修の充実	
昨年度の事業進捗状況	
教職員研修の精選や新教育課程にあった内容の見直しを図り、経験年数や職能に応じた指導力向上を図ることができた。また、市独自の研究指定委嘱や教育研究所等の研究内容を発信することにより、他校へ還元することができた。	
残された課題・今後必要な取り組み	
県主催の基本研修等の見直しを図られたことや若年教員の増加に伴い、新規採用教員や若年講師を対象とした市主催研修を重点的に実施する必要がある。	
主要施策名(5) 個別の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進	
昨年度の事業進捗状況	
特別支援教育アドバイザーやアシスタントティーチャー等の活用により、教員と子ども、教員と保護者をつなぐ体制づくりが進み、個に応じた指導・支援が充実してきた。	
残された課題・今後必要な取り組み	
子どもの実態、保護者の願いが多様化する中で、子どもの学習を保障するために学校でできることとできないことを明確にし、支援の在り方を探るとともに、特別支援教育アドバイザーやアシスタントティーチャー等の指導力向上を図る必要がある。	
主要施策名(6) 信頼される学校づくり(コミュニティスクール)の推進	
昨年度の事業進捗状況	
令和3年度当初に、今元小学校、今元中学校、仲津小学校、仲津中学校の4校への学校運営協議会(コミュニティ・スクール)を設置することができました。本年度は、残り12校についても設置に向けた準備を進めるとともに、設置校5校については活動の充実を図るための研修会等を実施します。	
残された課題・今後必要な取り組み	
来年度当初に、市内小中学校全17校に学校運営協議会(コミュニティ・スクール)を設置することとなりますので、今後は、学校・家庭・地域が連携・協働し、それぞれが役割と責任を持って地域全体での活動の充実を図っていきます。	

各主要施策の進捗状況及び課題等	主要施策名(7) 小中一貫した教育の推進
	昨年度の事業進捗状況
	「郷土科」「コミュニケーション科」の公開授業を中心とした小中合同研修会、異校種間での出前授業、授業や文化発表会などを通じた児童生徒間交流を進めることができた。
	残された課題・今後必要な取り組み
	9年間を見通した児童生徒の健やかな成長につなげるために、小中学校それぞれの特色を踏まえた教育課程の編成や生徒指導面の連携、小学校卒業までに身に付けさせる資質・能力の共有化を図る小・中連携を推進する必要がある。
	主要施策名(8) キャリア教育の推進
	昨年度の事業進捗状況
	総合的な学習等の年間カリキュラムの中にキャリア教育を位置づけ、「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」の育成に向けた取組を推進できた。また、中学校の職場体験等については、社会の変化や生徒のニーズに応じた新しい職場を開拓することができ、生徒の意欲的な学習活動を引き出すことができた。
	残された課題・今後必要な取り組み
	学校教育活動全体を通してキャリア教育を推進するという観点から、他の教科・領域の中で関連的に取り扱う内容を整理し、年間計画に位置付け、計画的に実施していく必要がある。
	主要施策名(9) 快適な教育環境をめざす教育施設の整備・充実
	昨年度の事業進捗状況
	公立学校施設整備総合計画に基づき、空調整備(4校)、屋上防水改修(2校)等を計画的に進め、快適な教育環境の確保に努めた。また、学校施設の修繕、工事全般については、児童生徒の安全確保を最優先として随時実施した。
	残された課題・今後必要な取り組み
	学校施設の老朽化が進んでおり、施設の長寿命化を計画的に進めていくことが課題。
主要施策名(10) 安全・安心な学校給食の提供と食育の推進	
昨年度の事業進捗状況	
市内の小中学校に安心安全な給食を提供するとともに、全小学校(11校)の3年生を対象に栄養教諭による食育指導を行った。また、児童のみならず保護者等に対しても学校給食ならびに正しい食育に対する理解を深めていただくよう努めた。	
残された課題・今後必要な取り組み	
引き続き、安全・安心な学校給食を提供しながら、市内小中学校と連携し、生徒児童に正しい食育を推進するよう努める。また、夏休み期間中に親子料理教室等を開催し、保護者等に対しても学校給食ならびに正しい食育に対する理解を深めるよう努める。	
昨年度の事業進捗状況	
残された課題・今後必要な取り組み	

⑥	事務事業名	事務事業の内容	R2年度 総事業費 (実績値)	(単位：千円)		R3年度 総事業費 (実績値)	(単位：千円)		R4年度 総事業費 (見込値)	(単位：千円)		優先順位
				事業費	人件費		事業費	人件費		事業費	人件費	
1	教育委員会一般管理事業	教育委員会の運営費（教育委員4名、教育委員会評価委員3名の報酬他）	6,796	2,596	4,200	6,786 4,097	2,586 2,557	4,200 1,540	5,435	3,125	2,310	26
2	教育委員会事務局政策一般管理事業	事務局の事務経費（教育総務課職員の人件費、各種協議会の経費他）	5,290	1,090	4,200	6,206 2,731	2,006 1,191	4,200 1,540	4,367	2,057	2,310	27
3	子ども議会開催事業	子どもたちの、市政や議会への関心を高めることを目的とした子ども議会開催経費	2,100	0	2,100	2,585 2,231	485 481	2,100 1,750	6,137	537	5,600	23
4	学校規模・配置適正化事業	市内小中学校の適正規模・配置についての検討に係る経費	8,400	0	8,400	9,412 6,527	1,012 577	8,400 5,950	4,900	0	4,900	17
5	学校運営協議会設置事業	学校運営協議会設置事業に係る経費	253	253	0	1,104 4,488	1,104 988	0 3,500	8,280	3,380	4,900	22
6	教育施設長寿命化計画策定事業	教育施設長寿命化計画策定に係る経費	13,860	13,860	0	0 0	0 0	0 0	-	-	-	-
7	大学生等生活応援給付金事業	大学生等生活応援給付金事業に係る経費	78,452	76,352	2,100	2,100 0	0 0	2,100 0	-	-	-	-
8	学生応援給付金事業（コロナ対策）	行橋市在住または出身の高校生等・大学生等の就学や生活に係る費用を支援	0	0	0	139,095 141,891	139,095 139,091	0 2,800	-	-	-	-
9	小中学生給付金事業（コロナ対策）	行橋市在住の小中学生の就学や生活に係る費用を支援	0	0	0	70,508 69,773	70,508 66,973	2,800	-	-	-	-
10	教育振興基本計画見直し事業	教育振興基本計画見直しに係る経費	0	0	0	175 4,713	175 163	0 4,550	-	-	-	-
11	教育委員会事務局総務一般管理事業	事務局の事務経費（学校教育課学校管理係分）	1,313	613	700	1,979 1,899	1,139 1,059	840 840	3,854	1,054	2,800	28
12	小学校施設総務管理事業	11小学校の施設総務管理費（消耗品、光熱水費、各種維持管理委託料他）	107,791	106,251	1,540	105,161 101,467	103,551 99,857	1,610 1,610	106,817	104,017	2,800	29
13	小学校総務運営事業	11小学校の総務運営費（用務員等の賃金、備品購入費他）	70,281	67,901	2,380	73,258 71,160	70,528 68,290	2,730 2,870	75,432	72,282	3,150	30
14	小学校補修事業	11小学校の校舎等維持補修工事（校舎補修、サッシ改修他）	7,943	7,383	560	9,110 7,368	7,500 6,458	1,610 910	8,900	7,500	1,400	31
15	小学校補修事業（臨時）	11小学校の校舎等維持補修工事（ブロック塀他）	2,972	1,362	1,610	0 0	0 0	0 0	-	-	-	-
16	教科書見直し事業（小学校）	4年ごとの教科書改訂に伴う教師用指導書・検定本購入費	3,605	3,045	560	0 0	0 0	0 0	-	-	-	-
17	小学校用地購入事業	仲津小学校の用地購入	0			0 0			0			
18	小学校施設総務管理事業（臨時）	小学校におけるAED用消耗品（バッテリーパック）購入費	0	0	0	807 0	527 0	280 0	-	-	-	-
19	小学校樹木管理事業	小学校樹木の伐採、剪定等を行う	2,817	2,257	560	0 0	0 0	0 0	3,935	3,235	700	-
20	小学校感染症対策支援事業	小学校における感染症対策事業費	30,534	29,974	560	0 0	0 0	0 0	-	-	-	-
21	小学校修学旅行費キャンセル料補填事業	小学校の修学旅行キャンセル料補填に係る経費（感染症対策事業）	0	0	0	0 0	0 0	0 0	3,527	3,177	350	-
22	小学校防犯カメラ設置	小学校における防犯カメラ購入費	0	0	0	0 0	0 0	0 0	4,567	3,517	1,050	-
21	小学校スクール・サポート・スタッフ配置事業	小学校におけるコロナ対策（消毒や清掃）を実施するスタッフの雇用にかかる経費	5,653	5,093	560	0 0	0 0	0 0	-	-	-	-
22	大型送風機設置事業	小学校における大型送風機購入費	3,240	2,820	420	0 0	0 0	0 0	-	-	-	-
23	小学校感染症対策等の学校教育活動継続支援事業	小学校における感染症対策用保健衛生用品等の購入費	0	0	0	13,830 13,480	10,890 10,890	2,940 2,590	3,717	3,367	350	8
25	小学校ICT環境整備事業	小学校ICT機器等整備に係る経費	0	0	0	985 1,894	985 984	0 910	-	-	-	-
25	小学校ICT整備事業	小学校増設教室におけるICT環境整備に伴う経費	115,681	112,881	2,800	4,778 3,126	1,978 1,866	2,800 1,260	-	-	-	6
26	小学校ICT管理事業	小学校ICT環境の管理に伴う経費	123,410	120,610	2,800	129,014 127,463	126,214 125,223	2,800 2,240	106,728	101,968	4,760	4
27	小学校プログラミング教材整備事業	小学校のプログラミング教材整備にかかる経費	1,665	1,665	0	0 0	0 0	0 0	-	-	-	-

施策構成
事務事業

28	小学校施設整備事業	放送設備の改修を行う	0	0	0	8,324	7,764	560	4,152	3,452	700	32
						8,623	7,643	980				
29	小学校空調整備事業	小学校の空調設備設置に係る経費	0	0	0	0	0	0	63,027	59,527	3,500	
						0	0	0				
30	小学校屋上防水改修事業	老朽化した小学校の屋上の計画的防水改修	0			0			0			
						0						
31	小学校プール改修事業	老朽化した小学校プールの改修	32,233	29,643	2,590	0	0	0	7,113	6,413	700	
						0	0	0				
32	小学校校舎外壁改修事業	老朽化した小学校校舎外壁の改修	0			0			0			
						0						
33	小学校下水道整備事業	行橋北小学校に下水道を整備する経費	0			0			0			
						0						
34	小学校教室不足改修事業	普通教室不足を解消し、安定的な学校運営を確保する経費	17,496	16,306	1,190	31,311	30,681	630	31,031	30,681	350	33
						31,381	30,681	700				
35	小学校屋上防水及び外壁改修事業	老朽化した小学校屋上防水及び外壁改修を計画的に行う	75,367	74,177	1,190	372,057	369,957	2,100	-	-	-	2
						316,168	313,508	2,660				
36	中学校施設総務管理事業	6中学校の施設総務管理費（消耗品、光熱水費、各種維持管理委託料他）	58,853	57,313	1,540	63,229	61,619	1,610	63,502	60,702	2,800	34
						59,381	57,771	1,610				
37	中学校総務運営事業	6中学校の総務運営費(用務員等の賃金、備品購入費他)	44,920	42,610	2,310	45,658	43,208	2,450	47,916	44,766	3,150	35
						43,958	41,228	2,730				
38	中学校総務運営事業（臨時）	道徳の教師用教科書及び指導書を購入する経費	8,503	7,943	560	0	0	0	-	-	-	-
						0	0	0				
39	中学校補修事業	6中学校の校舎等維持補修工事	6,905	6,345	560	7,680	6,000	1,680	7,750	6,000	1,750	36
						4,386	2,496	1,890				
40	中学校補修事業（臨時）	6中学校の校舎等維持補修工事	4,024	2,904	1,120	0	0	0	-	-	-	-
						0	0	0				
42	中学校樹木管理事業	中学校樹木の伐採、剪定等を行う	1,650	1,230	420	0	0	0	2,465	1,765	700	-
						0	0	0				
43	中学校感染症対策支援事業	中学校における感染症対策事業費	15,554	14,994	560	0	0	0	-	-	-	-
						0	0	0				
44	中学校修学旅行費キャンセル料補填事業	中学校の修学旅行キャンセル料補填に係る経費（感染症対策事業）	0	0	0	532	532	0	7,707	7,357	350	
						882	532	350				
44	中学校防犯カメラ設置事業	中学校における防犯カメラ購入費	0	0	0	0	0	0	2,568	1,518	1,050	
						0	0	0				
44	中学校スクール・サポート・スタッフ配置事業	中学校におけるコロナ対策（消毒や清掃）を実施するスタッフの雇用にかかる経費	3,098	2,538	560	0	0	0	-	-	-	-
						0	0	0				
45	大型送風機設置事業	中学校における大型送風機購入費	2,098	1,538	560	0	0	0	-	-	-	-
						0	0	0				
46	中学校感染症対策等の学校教育活動継続支援事業	中学校における感染症対策用保健衛生用品等の購入費	0	0	0	8,350	5,410	2,940	3,481	1,731	1,750	9
						8,350	5,410	2,940				
47	中学校ICT環境整備事業	中学校ICT機器等整備に係る経費	0	0	0	1,373	1,373	0	-	-	-	-
						2,282	1,372	910				
47	中学校ICT整備事業	中学校増設教室におけるICT環境整備に伴う経費	107,305	104,505	2,800	8,227	5,427	2,800	-	-	-	-
						5,589	4,329	1,260				
48	中学校ICT管理事業	中学校ICT環境の管理に伴う経費	70,535	67,735	2,800	73,783	70,983	2,800	63,264	58,504	4,760	5
						73,031	70,791	2,240				
50	中学校施設整備事業	中学校の施設整備に係る経費	11,213	8,763	2,450	8,744	6,224	2,520	3,730	1,980	1,750	37
						7,683	6,073	1,610				
51	中学校体育館床改修事業	老朽化した中学校体育館床の改修	27,138	25,948	1,190	10,926	9,806	1,120	-	-	-	-
						10,752	9,562	1,190				
52	中学校屋上防水及び外壁改修事業	老朽化した中学校屋上防水及び外壁改修を計画的に行う	286,014	284,824	1,190	20,062	17,962	2,100	69,652	67,202	2,450	1
						19,903	17,593	2,310				
53	義務教育施設災害復旧事業	被災した学校施設を復旧するための経費	3,168	2,748	420	1,674	1,674	0	-	-	-	-
						0	0	0				
54	学校給食一般管理事業	給食事業実施に係る事務的経費	51,222	37,222	14,000	52,560	38,910	13,650	55,009	39,259	15,750	21
						52,972	37,222	15,750				
55	防災食育センター運営事業	防災食育センターの運営費	440,540	362,490	78,050	482,460	405,810	76,650	485,010	405,560	79,450	19
						453,301	380,851	72,450				
56	防災食育センター施設管理事業	防災食育センター施設管理費（消耗品、光熱水費、各種維持管理委託料他）	82,746	76,796	5,950	85,809	79,859	5,950	95,106	87,756	7,350	20
						88,928	81,578	7,350				

57	特定防衛施設周辺整備事業	配送車の購入に係る経費	0	0	0	10,840 10,068	9,090 7,618	1,750 2,450	11,622	9,172	2,450	16
58	教育委員会事務局学務一般管理事業	教育委員会事務局の学務的事務経費	1,653	603	1,050	2,499 0	1,099 0	1,400 0	-	-	-	-
59	私立幼稚園育成補助事業	私立幼稚園教育の充実及び振興を図るための補助	1,880	1,180	700	1,880 0	1,180 0	700 0	-	-	-	-
60	市奨学金貸付事業	経済的な理由により就学困難な者に対し学費の一部を貸付、援助する経費	3,820	3,120	700	6,800 4,280	5,400 2,880	1,400 1,400	5,960	4,560	1,400	40
61	小学校学務運営事業	市立小学校の学務運営事業費(学校医報酬、鼻鏡、耳鏡等の医療機器業務委託ほか)	15,614	14,564	1,050	16,218 15,595	15,168 14,545	1,050 1,050	16,277	15,227	1,050	41
62	小学校就学援助事業	経済的理由により就学が困難な児童の保護者に対する援助費	60,786	59,386	1,400	75,512 61,115	74,112 59,715	1,400 1,400	77,429	76,029	1,400	11
63	小学校教育振興学務一般管理事業	小学校学務関係各種負担金等経費(学校保健会、日本スポーツ振興負担金)	5,115	3,715	1,400	5,851 5,825	3,751 3,725	2,100 2,100	5,516	3,766	1,750	42
64	小学校特別支援教育就学奨励費補助事業	特別支援学校に就学する児童の保護者の経済的負担を軽減するための経費	6,460	5,410	1,050	8,664 6,536	7,614 5,486	1,050 1,050	8,073	7,023	1,050	43
65	児童観劇補助事業(小学校)	家庭の経済的負担軽減、文化教育の振興、児童の感性を育てるための経費	0	0	0	840 0	140 0	700 0	2,106	1,406	700	56
66	中学校学務運営事業	市立中学校の学務運営事業費(学校医報酬、鼻鏡、耳鏡等の医療機器業務委託ほか)	8,534	7,484	1,050	9,124 8,565	8,074 7,515	1,050 1,050	9,158	8,108	1,050	44
67	中学校就学援助事業	経済的理由により就学が困難な生徒の保護者に対する援助費	43,642	42,242	1,400	77,507 52,097	76,107 50,697	1,400 1,400	64,458	63,058	1,400	12
68	中学校教育振興学務一般管理事業	中学校学務関係各種負担金等経費(学校保健会、日本スポーツ振興負担金)	2,984	1,584	1,400	3,795 3,756	1,695 1,656	2,100 2,100	3,467	1,717	1,750	45
69	中学校特別支援教育就学奨励費補助事業	特別支援学校に就学する生徒の保護者の経済的負担を軽減するための経費	3,806	2,756	1,050	9,331 5,183	8,281 4,133	1,050 1,050	7,046	5,996	1,050	46
70	生徒観劇補助事業(中学校)	家庭の経済的負担軽減、文化教育の振興、生徒の感性を育てるための経費	0	0	0	1,336 0	636 0	700 0	1,341	641	700	57
71	条件付返還免除型奨学金	経済的な理由により進学困難な者に対し、免除を前提として学費の一部を貸与、援助する経費	2,020	1,320	700	2,380 2,600	1,680 1,200	700 1,400	2,140	1,440	700	47
72	教育指導一般管理事業	教育相談員、AT等の賃金、各種教育研修負担金、小中学校教育補助金	116,661	96,921	19,740	128,622 126,382	108,882 106,642	19,740 19,740	113,240	93,500	19,740	48
73	スクールアドバイザー事業	特別な支援を必要とする子どもや、保護者等に指導助言のための経費	8,896	7,776	1,120	9,951 8,962	8,831 7,842	1,120 1,120	10,180	9,060	1,120	49
74	放課後質問教室事業	児童生徒の学力の定着を図るための経費	4,997	2,897	2,100	5,390 4,225	3,290 2,125	2,100 2,100	5,312	3,212	2,100	50
75	人権教育事業	小中学校における人権教育の推進を図るための経費	1,109	899	210	1,440 1,221	1,230 1,011	210 210	1,413	1,203	210	51
76	部活動外部指導者活用事業	運動部活動と地域社会との連携を促進するための指導者に対する報償	1,224	1,014	210	1,687 1,520	1,477 1,310	210 210	1,835	1,625	210	52
77	小中学校ICT推進事業	ICT環境を活用した授業等を円滑に行うための人員配置等に係る経費	26,048	24,648	1,400	28,396 28,369	26,996 26,619	1,400 1,750	33,405	28,505	4,900	10
78	小中学校教育ICTネットワーク更改事業	小中学校のネットワーク機器の更改に係る経費	0	0	0	15,078 15,375	13,678 13,625	1,400 1,750	-	-	-	-
79	ICT・英語教育推進事業一般管理費	ICT・英語教育推進係の係長及び係員分時間外手当に係る経費	0	0	0	899 870	899 870	0 0	341	341	0	-
80	Q-U調査事業	児童生徒の学級満足度等をはかる調査を実施するための経費	2,715	2,365	350	2,833 2,741	2,483 2,391	350 350	2,868	2,518	350	53
81	語学指導事業	児童生徒の語学力向上を図るためのALTの賃金ほか	30,447	29,747	700	30,635 29,754	29,935 28,354	700 1,400	36,811	31,911	4,900	14
82	中学校海外体験学習事業	豊かな国際性を身につけるため国際交流に参加する生徒のための補助	0			0 0			1,930	1,930		
83	日本語指導事業	外国籍の児童生徒が在籍する学校へ派遣する日本語指導員の賃金	3,220	2,520	700	3,143 3,672	2,443 2,412	700 1,260	6,555	2,495	4,060	15
84	適応指導教育事業	不登校状況にある児童・生徒の学校復帰のための援助及び指導業務	8,433	6,613	1,820	8,793 8,571	6,973 6,751	1,820 1,820	8,703	6,883	1,820	13

上段：見込値

下段：実績値

⑦

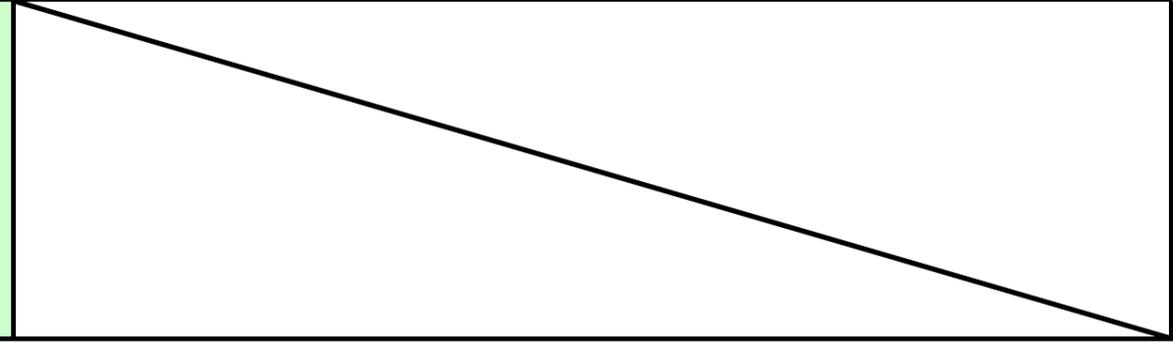
施策全体の今後の方針と展望

今後も子どもたちの「生きる力」を育むため、学校教育を中心に、令和2年度実施の新教育課程の内容を踏まえながら、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成を図るとともに、一人一人の個を伸ばす教育、心の教育の更なる充実を図っていきます。

また、グローバル社会や情報社会に対応できる能力を育むため、英語教育やICT教育をなお一層推進していきます。さらに、安全で快適な教育環境を確保するための学校施設等の長寿命化を計画的に進めていきます。

⑧

総合計画審議会からの意見及び指摘事項等



⑥	事務事業名	事務事業の内容	R2年度 総事業費 (実績値)	(単位：千円)		R3年度 総事業費 (実績値)	(単位：千円)		R4年度 総事業費 (見込値)	(単位：千円)		優先順位	
				事業費	人件費		事業費	人件費		事業費	人件費		
施策構成 事務事業	1	研修センター管理事業	25,470	22,320	3,150	33,026 33,376	29,876 29,876	3,150 3,500	32,776	29,276	3,500	1 1	
	2	成人式開催事業	2,725	485	2,240	2,836 2,672	596 432	2,240 2,240	3,923	1,683	2,240	5 5	
	3	地域活動指導員設置事業	6,897	5,847	1,050	7,193 7,471	6,143 6,071	1,050 1,400	7,193	6,143	1,050	2 2	
	4	子ども会育成連合会補助事業	2,605	785	1,820	2,859 2,703	1,039 883	1,820 1,820	2,859	1,039	1,820	4 4	
	5	PTA連合会補助事業	420	0	420	970 770	200 0	770 770	970	200	770	6 6	
	6	青少年育成市民会議補助事業	4,310	3,330	980	4,617 4,558	3,637 3,228	980 1,330	4,617	3,637	980	3 3	
	7	通学合宿事業	1,960	0	1,960	2,060 0	100 0	1,960 0	2,060	100	1,960	7 7	
	8												
	9												
	10												
	11												
	12												
	13												
	14												
	15												

上段：見込値
下段：実績値

⑦
施策全体の今後の方針と展望

生涯学習分野においては、幼少期から高齢期までの幅広いライフステージにおいて様々な施策の展開を図っていくが、特に青少年の育成に力を注ぐことで、未来の担い手である若者に活躍出来る場を提供していきます。また、行橋市青少年育成市民会議を中心とした、行橋駅周辺での声かけ活動や夜間パトロール等を継続して取り組んでいくことで、青少年の非行や問題行動を未然に防いでいきます。

子ども会育成連合会等各種団体と連携し、小学生から10代の青少年が主として参加する事業を通じて、地域とのつながり、自主性や自立性などを育み、社会性豊かな人格形成を図ります。

昨年度はどの事業もコロナ禍により中止や縮小を余儀なくされましたが、今年度はコロナ禍でも事業を継続できるよう感染対策に工夫をしながら各事業を実施していきたいです。

⑧
総合計画審議会からの意見及び指摘事項等

施策評価シート《マネジメントシート》

施策名	生涯学習・生涯スポーツの推進			
施策の体系	基本目標	ひとを育むまち	施策の主担当課名	生涯学習課
	基本施策	心とからだ育成プロジェクト	関係課名	スポーツ振興課
	施策コード	B-4-4	シート作成者名	

① 施策の現状と課題	<p>本市の生涯学習については、個人やグループによる学習活動・市民活動が盛んに行われており、また、行政だけでなく、西日本工業大学などの高等教育機関と連携した学習内容の充実を図り、地域におけるボランティア等、多様な学習機会を市民に対して提供しています。特に、読書活動の推進には、意欲的に取り組んでいます。しかし、地域の教育的機能の変化や、青少年の生き方・勤労観の変化等、生涯学習に関わる社会的状況が変わりつつある中で、特に子育て世代における生涯学習の提供や、子ども会加入者の減少等、多くの課題が新たに生まれてきています。また、生涯スポーツについては、競技としてだけではなく、市民の健康づくりや生きがい創出の観点から、スポーツ交流の推進や競技力の向上などを図り、市民のだれもが、いつでも、どこでも、いつまでも、気軽にスポーツを楽しめる生涯スポーツ社会の実現に向けての取組みが求められています。これらの課題を踏まえて、将来にわたる生涯学習施策を具体化し、かつ推進していくことが必要となっており、平成24年度に「行橋市生涯学習推進計画」を策定しました。この計画の推進を通して、市民の皆様が幼児期、青少年期、成人期、高齢期のライフステージに応じ、豊かな学びや体験を通して心豊かで生きがいのある人生を送ることができるように努め、スポーツ指導者、ボランティアの育成にも努めていく必要があります。</p>
② 施策の基本方針	<p>心の豊かさの追求、価値観の多様化などを背景とした市民の多様な学習ニーズに対応するため、生涯学習内容の拡充に努めるとともに、様々な学習機会や生涯学習に関する情報提供の充実を図ります。スポーツ施設や組織などの活動基盤の強化に努めるとともに市民スポーツ活動や健康づくり及び市民相互の親睦や交流のための地域に根ざした生涯にわたるスポーツ、レクリエーション活動の振興を図ります。</p>

③ 施策の内容 (主要施策)	<p>主要施策名(1) 生涯学習推進体制の充実</p> <p>「行橋市生涯学習推進計画」に基づき、関係機関、団体等と連携して多様な学習に応えられる生涯学習推進体制の整備を図ります。</p>
	<p>主要施策名(2) 生涯学習活動の推進</p> <p>生涯にわたって学習できるよう西日本工業大学などと連携を図り、専門性を生かし、また市民ニーズに応じた講座や教室などの学習機会を提供します。「行橋市子ども読書活動推進計画」に基づいた、ブックスタート事業や小学生読書リーダー養成講座等、幼児期からの読書活動を推進するとともに、市民の知的文化活動の充実のため、図書館を核とした読書活動を推進します。</p>
	<p>主要施策名(3) スポーツ活動の推進</p> <p>市民ニーズに応じた多様なスポーツ教室やスポーツフェスタなどの生涯にわたる事業を企画し、効果的な情報提供等から市民がスポーツにふれる機会を提供します。また、スポーツ指導者、ボランティアの育成支援を行い、関係団体との連携を図ります。さらにニュースポーツなどの軽スポーツの普及に努め、年齢、体力、性別を問わず気軽に楽しめる環境づくりに努めます。</p>
	<p>主要施策名(4) 生涯学習・スポーツ施設の充実</p> <p>地域の交流拠点、情報発信基地としての公民館を計画的に整備し、安全で快適な学習環境の提供に努めるとともに、平成32年供用開始予定である行橋市図書館等複合施設の管理運営を行う中で、あらゆる年齢層の集客とまちなかへの回遊性の向上を目指します。また市民が身近で気軽にスポーツレクリエーション活動を行うことができるよう、施設機能の充実に努めます。</p>

④ 目標指標	指標名(単位)	基準値		過年度実績			評価年度	達成度の説明(R3年度)
		H27年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
目標指標	公民館利用者人数(人)	H27年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	緊急事態宣言下の臨時休館等、公民館の利用ができない期間があった。また、開館時にも安全面を優先したため、サークル等の活動が減ったり新型コロナ対策のために会議室の収容率を50%未満にしたりしたので、利用者人数が例年より少なくならざるを得ない状況であったため。
		180,369	193,527	186,142	175,928	94,317	200,000 95.480	
	公民館講座参加人数(人)	H27年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	緊急事態宣言下の臨時休館等、公民館の利用ができない期間があった。また、開館時にも安全面を優先したため、講座の中止により開催数を減らしたり新型コロナ対策のために会議室の収容率を50%未満にしたりしたので、多くの参加を促すことができなかったため。
		5,181	4,089	4,484	4,424	1,401	8,000 1,338	
	スポーツフェスタINゆくはし参加人数(人)	H27年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	4年間異なる競技を開催するため参加人数に大きくばらつきがあります。(R3年度については新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より中止)今後広報等の見直しを図り、参加増を目指します。
700	397	217	519	0	740 0			
体育施設利用人数(人)	H27年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	新型コロナウイルス感染症及び体育館内部改修工事に伴う利用期限の影響により、前年度を下回る結果となりました。	
113,500	235,363	232,005	243,308	91,220	250,000 85.874			
行橋市図書館等複合施設利用者人数(冊・人)	H27年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	令和3年度は、臨時休館や利用制限を行った中でしたので、施設利用者数が、令和2年度より減少しております。	
97,841	91,588	85,989	58,047	190,406	150,000 179.854			

上段：目標値、下段：実績値

⑤ 各主要施策の進捗状況 及び課題等	<p>主要施策名(1) 生涯学習推進体制の充実</p> <p>昨年度の事業進捗状況</p> <p>地域ボランティア事業の一環である、はがき絵・折り紙等のボランティア派遣事業につきましては、コロナ禍のため実施できませんでした。しかしながら、担い手を育成するためのボランティア養成講座及び習字のボランティア派遣事業につきましては、感染症対策をしたうえで開催することができました。</p> <p>残された課題・今後必要な取り組み</p> <p>今後も、感染対策を行いながらボランティア養成講座を継続し、様々な知識・経験を持ったボランティアの方の力をお借りし、市民の生きがいづくり、学びの場を提供していく必要があります。</p>
	<p>主要施策名(2) 生涯学習活動の推進</p> <p>昨年度の事業進捗状況</p> <p>公民館講座や市民大学講座(後期のみ)を開講しました。子ども講座、人権講座、歴史ロマン探訪講座並びに男女の美学講座等、幅広い内容の講座を行い、老若男女誰でも参加できる生涯学習の取り組みを実施しました。</p> <p>残された課題・今後必要な取り組み</p> <p>生涯学習の各種講座におきましても、コロナ禍の影響のため、予定通りには実施出来ないこともあり、実施回数及び参加者は減少しております。今後はコロナ禍でも、講座の継続が出来るよう対策をし、かつ、市民のニーズを取り入れた講座を企画していきます。また、図書事業においても、臨時休館が、来館者は減少しておりますが、今後は魅力ある図書館を周知し、来館者数増加に繋がります。</p>
	<p>主要施策名(3) スポーツ活動の推進</p> <p>昨年度の事業進捗状況</p> <p>教室については市主催の初心者テニス教室・体育施設指定管理団体(株)オリエンタルコンサルタンツ)主催のヨガ・サッカー・弓道・テニス・バドミントン・体育教室等を実施できました。また、誰でも気軽に行えるニュースポーツについては、毎年行っているスポーツフェスタinゆくはし等で推進しています。</p> <p>残された課題・今後必要な取り組み</p> <p>今後、スポーツ指導者等の育成支援を行っていくとともに、毎年スポーツフェスタで行っているニュースポーツの普及促進を、市全体になるよう、普及に努めてまいります。</p>
	<p>主要施策名(4) 生涯学習・スポーツ施設の充実</p> <p>昨年度の事業進捗状況</p> <p>地域の交流拠点、情報発信基地としての公民館を計画的に整備し、安全で快適な学習環境の提供に努めます。昨年度の公民館施設の改修につきましては、穂田・延永公民館の駐車場整備工事、延永公民館の駐輪場改修工事や穂田公民館の空調改修工事等を実施しました。また、今元・延永公民館の内部改修等も実施しました。図書館等複合施設「リブリオ行橋」の利用者数は、コロナ禍の中、臨時休館や利用制限を余儀なくされたため、令和2年度より減少しております。行橋市市民体育館の内部改修工事を実施し、利用者の安全確保・利用環境の改善に取り組みました。また、新田原グラウンドにおいては、老朽化したトイレを解体し、新たなトイレを新設することにより、利便性の向上を図りました。今後も、体育施設の整備・充実に取り組んでまいります。</p> <p>残された課題・今後必要な取り組み</p> <p>施設自体の老朽化が進んでいるので、今後も施設改修などを行って安全で快適な使用ができるよう努力してまいります。リブリオ行橋につきましては、引き続き指定管理者と情報共有や協議を行い、コロナ感染対策を行いながら、市民の皆様が来館したくなる施設となるよう努めてまいります。</p>
	<p>昨年度の事業進捗状況</p>
	<p>残された課題・今後必要な取り組み</p>
	<p>昨年度の事業進捗状況</p>
	<p>残された課題・今後必要な取り組み</p>
	<p>昨年度の事業進捗状況</p>
	<p>残された課題・今後必要な取り組み</p>

⑥	事務事業名	事務事業の内容	R2年度 総事業費 (実績値)	(単位：千円)		R3年度 総事業費 (実績値)	(単位：千円)		R4年度 総事業費 (見込値)	(単位：千円)		優先順位	
				事業費	人件費		事業費	人件費		事業費	人件費		
施策構成 事務事業	1	市民大学講座事業	中央公民館にて市内在住・在勤者100人に2講座を提供する	1,278	228	1,050	1,752	702	1,050	1,752	702	1,050	7
							1,239	189	1,050				7
							2,444	1,394	1,050	2,444	1,394	1,050	18
	2	女性学級事業	小・中学生の母親と地域の女性を対象に各校区で10ヶ月間10回の講座を実施	2,022	972	1,050	2,195	1,145	1,050	2,444	1,394	1,050	18
	3	地域ボランティア養成講座事業	中央公民館にて書道・はがき絵・折紙の講座を実施	1,512	322	1,190	1,522	332	1,190	1,522	332	1,190	19
							1,362	172	1,190				19
	4	公民館施設管理事業	市内12公民館の施設管理にかかる経費	88,001	83,451	4,550	93,453	88,903	4,550	97,928	93,518	4,410	3
							103,010	98,600	4,410				3
	5	公民館講座事業	各校区公民館で行う子ども講座と人権講座にかかる経費	1,320	270	1,050	1,842	792	1,050	1,842	792	1,050	6
							1,305	255	1,050				6
	6	公民館補修事業	大規模な補修が必要な施設について優先順位をつけ計画的に補修していく	18,311	16,421	1,890	18,777	16,887	1,890	9,583	8,043	1,540	5
							7,084	5,544	1,540				5
	7	学供施設管理事業	仲津・泉校区の22施設（各行政区が指定管理）の維持管理にかかる経費	8,617	4,977	3,640	9,463	5,823	3,640	9,212	6,572	2,640	12
							9,040	5,400	3,640				12
	8	学供補修工事事業（再編交付金事業）	老朽化が進む学習等供用施設の施設改修を行い、利用者の安全・快適な利用促進を図る事業	30,774	30,564	210	41,111	40,901	210	35,489	34,789	700	14
							35,792	35,092	700				14
	9	樺市地域交流センター施設管理事業	樺市地域交流センター施設管理にかかる経費	11,771	8,271	3,500	16,677	13,177	3,500	16,017	12,867	3,150	4
							16,565	13,065	3,500				4
	10	図書館等複合施設指定管理料	図書館等複合施設の維持管理運営に係る指定管理料	176,028	169,378	6,650	176,168	169,378	6,790	184,455	177,665	6,790	1
							176,728	169,378	7,350				1
	11	図書館一般管理費	図書購入費、ICバーコード等に係る経費	24,403	22,443	1,960	26,421	24,461	1,960	26,220	24,260	1,960	8
							23,046	21,086	1,960				8
	12	スポーツ教室事業	ジュニアと一般を対象にしたテニス教室を開催する	230	20	210	671	181	490	811	181	630	11
							791	161	630				11
	13	スポーツ大会事業	初心者テニス、中学サッカーなど9種目の大会を開催する	1,944	264	1,680	3,224	1,194	2,030	3,981	1,181	2,800	10
							2,404	374	2,030				10
	14	スポーツフェスタ開催事業	競技5種目を持ち回り、ニュースポーツの普及啓発を図る	490	0	490	975	415	560	1,605	415	1,190	13
							210	0	210				13
	15	体育協会補助事業	22団体・5SP少年団への企画運営・助成、年間50件以上のスポーツ大会を開催	14,154	13,874	280	13,598	13,108	490	10,634	10,144	490	9
							13,635	12,935	700				9
	16	ベタンク協会補助事業	競技普及のため補助する。高齢者の生きがいを醸成	240	100	140	0	0	0	0	0	0	-
						0	0	0				-	
17	武道振興会補助事業	青少年の健全育成や精神修養を図るため武道振興会へ補助する	765	135	630	1,955	135	1,820	1,955	135	1,820	20	
						1,260	0	1,260				20	
18	校区体育振興事業補助事業	11校区のスポーツ振興のための助成	600	180	420	680	330	350	680	330	350	21	
						530	180	350				21	
19	スポーツ推進委員活動助成事業	24年度からスポーツ推進委員の活動に助成する	1,326	276	1,050	1,202	222	980	1,342	222	1,120	15	
						980	0	980				15	
20	中山グラウンド管理事業	中山グラウンド・テニスコートの維持管理にかかる経費	4,262	2,512	1,750	3,893	2,703	1,190	4,042	2,712	1,330	16	
						3,427	2,237	1,190				16	
21	指定管理体育施設管理事業	体育館・弓道場・武道場・庭球場・サッカー場・多目的グラウンドの指定管理料	39,800	38,610	1,190	42,060	41,080	980	38,561	37,301	1,260	2	
						42,036	41,056	980				2	
22	その他体育施設管理事業	新田原G・多目的G、泉・今川スポーツ広場の管理にかかる経費	2,861	1,741	1,120	2,799	1,609	1,190	3,186	1,716	1,470	17	
						3,315	1,705	1,610				17	
23	テニスコート照明設備改修工事費	老朽化に伴い一部改修する工事（LED化）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
						0	0	0				-	
24	総合公園内市民体育館管理費	市民体育館の建築物定期検査業務	411	404	7	0	0	0	0	0	0	-	
						0	0	0				-	
25	総合公園内市民体育館備品購入事業	利用頻度拡大及び施設の充実を図るため	2,547	2,407	140	0	0	0	0	0	0	-	
						0	0	0				-	
26	武道館改修事業	武道館照明は水銀灯の為生産販売中止に伴いLED化にする	2,251	2,244	7	0	0	0	0	0	0	-	
						0	0	0				-	
27	市民体育館大型改修事業	経年劣化に伴う全面改修を行うもの	15,425	14,655	770	193,300	192,390	910	289,932	288,532	1,400	3	
						165,307	164,187	1,120				3	
28	移動式バスケットゴール一式購入	老朽化に伴い新規購入	7,711	6,941	770	0	0	0	0	0	0	-	
						0	0	0				-	
29	市民プール解体事業	閉鎖されている市民プールの解体工事に係る経費	0	2,475	7	104,800	103,190	1,610	0	0	0	-	
						92,551	89,401	3,150				-	
30	新田原グラウンドトイレ新設工事	新田原グラウンド老朽化に伴う新設工事に係る経費	0	0	0	29,900	28,920	980	0	0	0	-	
						24,308	23,118	1,190				-	
31	中山グラウンド管理棟改修事業	中山グラウンド管理棟の老朽化に伴う改修工事に係る経費	0	0	0	6,851	5,941	910	0	0	0	-	
						6,745	5,835	910				-	

上段：見込値

下段：実績値

⑦ 施策全体の今後の方針と展望	生涯学習推進計画の基本理念の下、生涯学習、生涯スポーツの施策を推進していきます。生涯学習については、公民館講座や市民大学講座を中心に、公民館を地域交流の拠点として取り組んでいきます。また、市民の知的文化活動の充実のため、図書館等複合施設「リブリオ行橋」を核とした読書活動を推進していきます。子ども読書活動につきましても、平成30年度に策定しました「第3次行橋市子ども読書活動推進計画」（令和元年度～令和5年度）に則り取組みを推進していきます。生涯スポーツについては、体育協会と連携をとりながらスポーツの振興を推進するとともに各種大会の安定した運営を行っていきます。生涯学習施設及び体育施設は全般的に老朽化が進んでいますので、総合的な整備計画を策定し、計画的な施設管理を図る必要があります。
--------------------	--

⑧ 総合計画審議会からの意見及び指摘事項等	
--------------------------	--

施策評価シート《マネジメントシート》

施策名	地域文化の振興と文化財の保護・継承			
施策の体系	基本目標	ひとを育むまち	施策の担当課名	文化課
	基本施策	心とからだ育成プロジェクト	関係課名	生涯学習課
	施策コード	B-4-5	シート作成者名	

①	<p>価値観やライフスタイルの多様化した今日、一人ひとりが生き方を大切に、心のゆとりや生きる喜びなど、精神的な豊かさを実感できる社会を創っていくことが重要となっています。また、市民が主体的に地域の歴史や文化を学ぶことや、伝統文化を継承していくことで、地域に誇りと愛着を感じることができるような環境づくりが大切にされています。</p> <p>文化芸術の面では、市民文化祭や美術展の開催により市民の文化活動を支援するとともに、ゆくはしビエンナーレを開催し、質の高い彫刻作品を国際的に公募しました。今後はゆくはしビエンナーレの作品を心豊かなまちづくりに活用していきます。また市内に数多くある史跡や文化財の保存、整備にも取り組んでおり、現在、御所ヶ谷神籠石や福原長者原官衙遺跡の整備を進めています。平成27年度に国の重要文化財に指定された稲重古墳群出土品も含め、今後本市の大きな魅力である豊富な文化遺産を地域学習や観光資源として積極的に活用していく必要があります。</p> <p>文化行政の課題としては、文化団体の指導者の高齢化にともなう次世代のリーダーの育成や、活動の拠点となる文化施設の整備があります。一方、近年著しく増加した歴史資料を適切に保管し、広く公開することも求められています。</p> <p>このために、文化団体への支援や、多くの市民が文化芸術に親しむ環境整備を行う必要があります。また、史跡の計画的整備とともに、文化財の保存や情報発信の機能を高めるため、文化施設や歴史資料館などの整備を推進する必要があります。さらに、これまで取り組んできた学校への出前授業や歴史や文化財のシンポジウムなどの普及活動や、連歌や神楽などの伝統文化の普及、継承にも取り組んでいく必要があります。</p> <p>これらの施策により、芸術や文化や地域の文化財を活用し、本市の魅力高めるとともに、市民が心豊かにいきいきと活動できるまちづくりを進めることが重要です。</p>
②	<p>市民が地域に誇りと愛着を感じられるように、芸術や文化の振興を図るとともに、市民が主体となって芸術文化活動が行えるよう、拠点となる施設の整備に努めます。</p> <p>市内の文化遺産を市民とともに大切に未来へ伝え、地域の魅力を高め、観光資源にもなるように積極的に整備、活用していきます。</p>

③	<p>主要施策名(1) 芸術文化の創造と育成</p> <p>文化団体や地域、学校等と連携して文化芸術活動の活性化を推進します。また、人材の育成や団体の支援を強化するとともに、市民や次世代を担う子どもたちが芸術文化を体験・鑑賞する機会の充実を図ります。</p>	
	<p>主要施策名(2) 文化施設の整備充実</p> <p>市民の多様で積極的な文化芸術活動を受け入れるため、活動の拠点となる文化施設の充実を図り、計画的に整備を推進します。</p>	
	<p>主要施策名(3) 史跡整備と文化財の活用</p> <p>御所ヶ谷神籠石や福原長者原官衙遺跡など市内の史跡を計画的に整備するとともに、文化財の維持管理に務め、地域学習や観光振興に積極的に活用します。また、重要文化財である稲重古墳群出土品など貴重な歴史資料の保存修理を行い、広く公開していきます。</p>	
	<p>主要施策名(4) 歴史や文化の情報発信の推進</p> <p>歴史資料館をリニューアルし、展示や保存のスペースを拡充することにより、情報発信機能を高めます。また、わかりやすいパンフレットやガイドブックの作成、市ホームページの活用により地域の魅力を広く発信するとともに、市民の市の歴史や文化に対する理解を深めます。また資料館の体験学習スペースを活用し、市民や子どもたちに歴史とふれあう場を提供します。</p>	
	<p>主要施策名(5) 伝統文化の保存と継承</p> <p>連歌をはじめとした、伝統ある様々な無形文化財の保存・継承を促進し、併せて地域の活性化につなげていきます。</p>	

④	指標名(単位)	基準値	過年度実績				評価年度	達成度の説明 (R3年度)	
			H27年度	H29年度	H30年度	R1年度			R2年度
目標指標	コスメイト行橋貸施設(文化ホール・練習室・会議室)利用者数(人)		63,979	63,900	63,326	56,805	8,947	R3年度 68,000 26,773	新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、利用者による活動自粛や施設の閉館が影響し、利用者数が減少した。
	文化財説明板等の設置件数(件)		55	67	69	69	69	R3年度 累計71 71	文化財説明板設置事業が実施計画事業から外れたため目標に達せなかった。したがってR3年度の目標を71に下方修正。
	行橋連歌大会の参加者数(人)		81	77	60	72	0	R3年度 100 30	連歌大会としては新型コロナウイルス感染拡大により中止となった。その中でも代替事業として、ボックス連歌を行った。
	芸術文化関連イベントの来場者数(人)		10,179	12,829	11,445	12,964	2,378	R3年度 13,800 796	芸術文化関連イベントは新型コロナウイルス感染拡大により中止、延期となった。ビエンナーレ事業は本展の授賞式、除幕式は規模縮小し行った。

上段：目標値、下段：実績値

⑤	<p>主要施策名(1) 芸術文化の創造と育成</p> <p>昨年度の事業進捗状況</p> <p>市民文化祭は、コロナの影響で開催できず、代替事業として文化発表会を実施した。文化体験教室は、感染症対策を講じ、子ども達が様々な文化を体験することで、文化に対する興味をもち、将来本格的に学んでみたいと思うきっかけを提供できたと思います。国際公募彫刻展は第4回に向けての募集を行い、14か国から44点の作品の応募があった。関連イベント、「木彫Camp!」も実施し、リブリオに完成した2点の作品を設置し、市民が優れたアートに触れることのできる環境づくりに寄与できた。</p> <p>残された課題・今後必要な取り組み</p> <p>平成29年度から始めた小中学生を対象とした体験教室は、子ども達が身近な文化芸術活動に触れる機会を提供するとともに文化芸術活動の後継者づくりと底上げに繋がるものであり、今後も推進していくことが必要である。</p> <p>また、国際公募彫刻展は、公募する作品のテーマや市民に親しまれる事業、さらに海外にアピールする方法など効果を検証しながら、随時検討していく必要がある。</p> <p>主要施策名(2) 文化施設の整備充実</p> <p>昨年度の事業進捗状況</p> <p>文化施設について設備の改修、更新箇所が増えてきているが財政面との兼ね合いもあり、今後は改修計画を作成し計画的に行っていく必要がある。昨年度はコスメイト行橋で鉛蓄電池更新工事、電気室用排気ファン改修工事、空調設備(冷却塔薬品注入装置)更新工事を行った。</p> <p>残された課題・今後必要な取り組み</p> <p>コスメイト行橋、赤レンガ館、行橋市増田美術館等の文化施設については、長寿命化計画にのっとり、市民の利用や安全性、施設の機能に支障が出ないように計画的な維持管理を行っていく必要がある。特に美術館については施設の機能面に問題をかかえており大規模な改修が必要と考えられる。</p> <p>主要施策名(3) 史跡整備と文化財の活用</p> <p>昨年度の事業進捗状況</p> <p>御所ヶ谷史跡自然公園については、平成30年7月豪雨で損じた東石壁の復旧工事を行い、石壁の積み直しを実施した。国重要文化財の稲重古墳群出土品は稲重21号墳出土の鉄製武器類の保存修理事業に着手した。また文化財のサインや説明板の整備を3箇所において実施した。</p> <p>残された課題・今後必要な取り組み</p> <p>福原長者原官衙遺跡については「保存活用計画」に基づいて史跡の追加指定を行い、公有化および確認調査を実施し、将来の本格的整備に備えたい。文化財の説明板等は老朽化したものの改修も含め、今後計画的に整備を進めていく必要がある。</p> <p>主要施策名(4) 歴史や文化の情報発信の推進</p> <p>昨年度の事業進捗状況</p> <p>歴史資料館では特別展1回、企画展3回を実施し、年間入場者は7,946人であった。文化課職員による小中学校への出前授業は1回実施し、子どもたちに本市の歴史文化を伝えた。埋蔵文化財の発掘調査報告書1冊のほか、今井祇園行事のリーフレットを発行した。</p> <p>残された課題・今後必要な取り組み</p> <p>歴史資料館は5～6月、8～9月に新型コロナウイルス感染症の影響で閉館したこともあり、入館者数が減少した。今後はミニ展示や講座を実施するとともに、マスメディアなどを活用し資料館でのイベントの情報発信を活性化し、入館者の増加に努める。</p> <p>主要施策名(5) 伝統文化の保存と継承</p> <p>昨年度の事業進捗状況</p> <p>連歌の普及と継承を目的としてコロナ禍でも規模を縮小し第16回行橋連歌大会を開催した。また大会を見据え4回の連歌市民講座を開催した。また、国重要無形民俗文化財「豊前神楽」を構成する4つの神楽団体に活動と継承を支援するための補助を行った。</p> <p>残された課題・今後必要な取り組み</p> <p>連歌については、近隣の小中学校への出前授業を計画し、まずは連歌を知ってもらおう。より幅広く広報活動を行っていく。神楽については、後継者の育成や道具の維持補修が課題であり、保存団体と協議しながら計画的に事業を進めることが必要である。</p> <p>昨年度の事業進捗状況</p> <p>残された課題・今後必要な取り組み</p>
---	---

各主要施策の進捗状況及び課題等

⑥	事務事業名	事務事業の内容	R2年度 総事業費 (実績値)			R3年度 総事業費 (実績値)			R4年度 総事業費 (見込値)			優先順位	
			事業費	人件費		事業費	人件費		事業費	人件費			
施策構成 事務事業	1	複合文化施設管理事業	複合文化施設コスメイト行橋の管理・運営	48,561	45,411	3,150	48,105	46,985	1,120	49,412	48,572	840	16
							50,259	49,349	910				16
							2,654	1,394	1,260	2,518	1,398	1,120	3
	2	市民文化祭事業	行橋市民文化祭の開催	2,091	1,391	700	1,136	16	1,120				3
							1,483	503	980	831	551	280	15
							802	452	350				15
	3	美術展覧会事業	行橋市美術展覧会の開催	1,134	504	630	775	425	350	635	425	210	20
							210	0	210				20
	4	文化公演事業	市内小中学校での芸術鑑賞・体験事業	845	425	420	2,590	980	1,610	2,510	830	1,680	13
							2,170	490	1,680				13
	5	文化振興事業補助事業	行橋連歌大会、各校区文化祭、竹下しづの女俳句大会の開催を支援	2,380	980	1,400	53,047	52,137	910	56,977	56,207	770	17
							52,977	52,137	840				17
	6	文化振興公社補助事業	公益財団法人行橋市文化振興公社に対する補助	53,896	52,986	910	2,840	2,000	840	1,261	771	490	18
							2,560	2,000	560				18
	7	文化協会補助事業	行橋市文化協会に対する補助	2,980	2,000	980	4,720	3,600	1,120	2,194	444	1,750	11
							7,516	5,766	1,750				11
	8	複合文化施設整備事業	複合文化施設コスメイト行橋の施設改修	29,791	28,601	1,190	480	200	280	750	540	210	26
							410	200	210				26
	9	地域に開かれた音楽鑑賞事業	地域レベルで活動するプロ音楽家によるクラシック音楽の演奏会	550	200	350	14,474	9,994	4,480	25,558	21,778	3,780	2
							12,240	7,970	4,270				2
	10	ピエンナーレ事業	彫刻を中心とした美術による文化振興を行うもの	24,969	22,169	2,800	11,523	8,653	2,870	13,005	9,435	3,570	8
							10,457	6,817	3,640				8
	11	美術館管理運営事業	行橋市増田美術館の管理運営費	10,900	8,520	2,380	6,473	3,183	3,290	6,727	3,297	3,430	4
							6,752	3,182	3,570				4
	12	美術館特別展事業	行橋市増田美術館での特別展開催	5,761	2,541	3,220	0	0	0	0	0	0	-
							0	0	0				-
	13	図書館及び視聴覚センター跡地活用事業	図書館及び視聴覚センター跡地活用のための施設改修	191,624	188,754	2,870	0	0	0	0	0	0	-
							0	0	0				-
	14	ゆくはし文化芸術フェスタ事業	まちなかを舞台に芸術・音楽・歴史をメインにしたイベントを開催	9,557	7,457	2,100	0	0	0	0	0	0	-
							3,982	1,532	2,450				-
	15	旧百三十銀行管理事業	県指定文化財「旧百三十銀行行橋支店」の管理・運営	8,052	3,852	4,200	6,673	4,363	2,310	5,518	4,363	1,155	7
						6,253	4,363	1,890				7	
16	御所ヶ谷住吉池公園管理事業	御所ヶ谷住吉池公園の管理	1,410	500	910	1,130	500	630	920	500	420	27	
						886	501	385				27	
17	市内文化財管理事業	市指定文化財への管理助成、及び古墳等の管理、文化財の修繕	2,928	2,018	910	4,964	3,914	1,050	3,245	1,985	1,260	19	
						6,254	3,804	2,450				19	
18	市内遺跡整理事業	発掘調査を実施した遺跡の調査報告書作成	13,448	10,788	2,660	12,653	9,923	2,730	14,632	11,552	3,080	6	
						12,295	9,355	2,940				6	
19	確認・試掘調査事業	開発等に伴う文化財の確認調査	3,740	2,200	1,540	4,064	2,034	2,030	4,298	2,058	2,240	10	
						4,262	1,952	2,310				10	
20	御所ヶ谷史跡自然公園整備事業	国指定史跡「御所ヶ谷神籠石」の調査・整備	27,521	24,861	2,660	20,655	19,255	1,400	29,039	25,959	3,080	5	
						22,305	19,225	3,080				5	
21	文化財収蔵庫管理事業	行橋市文化財収蔵庫の管理	1,971	361	1,610	921	361	560	1,247	267	980	21	
						1,150	240	910				21	
22	市内遺跡発掘調査事業	開発に伴って遺跡が破壊される場合に緊急発掘調査及び記録保存	2,066	1,226	840	2,480	1,220	1,260	3,531	1,641	1,890	19	
						3,740	1,570	2,170				19	
23	稲童古墳群出土品整理事業	国重要文化財「稲童古墳群出土品」の整理を行い公開活用を進める	4,422	2,252	2,170	7,700	6,300	1,400	7,638	6,658	980	9	
						7,352	6,302	1,050				9	
24	守田養洲旧居管理事業	市指定文化財「守田養洲旧居」の管理	3,229	2,739	490	3,984	2,304	1,680	3,416	2,366	1,050	12	
						3,878	2,198	1,680				12	
25	馬ヶ岳城跡管理費	馬ヶ岳城の管理	1,260	700	560	1,454	614	840	1,244	614	630	24	
						1,033	613	420				24	
26	歴史資料館管理費	歴史資料館の管理・運営	15,310	12,650	2,660	18,269	12,529	5,740	13,950	12,200	1,750	1	
						15,133	12,263	2,870				1	
27	歴史資料館事業	歴史資料館で行う企画展、特別展開催経費	3,438	1,058	2,380	5,724	1,244	4,480	2,947	1,407	1,540	14	
						4,364	1,144	3,220				14	
28	福原長者原官衙遺跡保存活用事業	国指定史跡「福原長者原官衙遺跡」の保存活用のために公有地化を進める	18,543	17,143	1,400	0	0	0	0	0	0	-	
						0	0	0				-	
29	福原長者原官衙遺跡管理事業	福原長者原官衙遺跡の訪問者の利便性を向上させるための管理	1,177	197	980	939	99	840	1,122	142	980	25	
						1,210	20	1,190				25	
30	郷土出身作家美術展事業	行橋市出身の美術作家を紹介する特別展を開催	1,776	1,006	770	0	0	0	0	0	0	-	
						0	0	0				-	
31	末松謙澄記念誌作成事業	2020年に没後100年を迎える末松謙澄の記念誌を作成	2,596	496	2,100	0	0	0	0	0	0	-	
						0	0	0				-	

	32	竹並下ノ原遺跡発掘調査事業	民間事業によって削平される遺跡を、受託事業で発掘調査する	0		3,344	2,574	770	0	0	0	23
						7	7	0				23
	33	ピワノクマ古墳整理報告事業	昭和30年に発掘された、県史跡ピワノクマ古墳の発掘調査報告書を刊行する	0		1,270	500	770	1,278	788	490	22
						990	500	490				22
	34	アートによるまちづくり事業	「門司港アートワーフ」に出展したゆくはしビエンナーレ事業にゆかりのある彫刻家の石堀作品を移設	0		0			0	0	0	-
						627	627	0				-

上段：見込値
下段：実績値

⑦ 施策全体の今後の方針と展望	<p>市民が主体となって文化芸術活動が行えるように、（公財）行橋市文化振興公社や行橋市文化協会との連携を強化し、創作・発表・鑑賞の機会の提供をするとともに、市民の文化活動の支援や情報発信、活動の場となる文化施設の整備を図ります。また、ゆくはし国際公募彫刻展（ビエンナーレ）の完成作品を教育や魅力があるまちの形成に活用していきます。</p> <p>市民が地域に誇りと愛着を感じられるように、本市の豊かな歴史遺産を市民と一緒に保存、活用していきます。そのための活動の拠点となる歴史資料館の充実を図るとともに、市内に数多くある史跡や文化財の環境を整備し、来訪者に親しまれるものとします。とくに御所ヶ谷史跡自然公園や福原長者原官衙遺跡はその史跡散策の中核となるよう計画的に整備を進めていきます。</p>
--------------------	---

⑧ 総合計画審議会からの意見及び指摘事項等	/
--------------------------	---

施策評価シート《マネジメントシート》

施策名	多文化共生・国際交流の推進			
施策の体系	基本目標	ひとを育むまち	施策の担当課名	市民相談室
	基本施策	心とからだ育成プロジェクト	関係課名	総合政策課
	施策コード	B-4-6	シート作成者名	

①	<p>近年、我が国は、ビジネス、外交、安全保障、観光並びに文化交流など様々な分野において、アジア諸国との関係を深めています。今や多くの日本人が中国、台湾、韓国を訪れ、また、中国、台湾、韓国など北東アジア圏から多くの観光客が福岡県をはじめ九州各県を訪れています。本市においても、平成27年より韓国・泉州市との友好都市交流を行っております。また、近年は、自動車関連産業の企業を中心にアジアから従業員や研修生を受け入れたり、また、結婚や留学をしたりすることを契機に、市内に居住する外国人が増えています。</p> <p>本市は平成4年以來、国際交流員を招致し、独自事業として英会話教室、中国語会話教室、インドネシア語教室、中学生を対象とした国際化セミナーなど市民ニーズに応えながら国際交流事業を実施してきました。</p> <p>近年は、近隣自治体の国際交流員・外国語指導助手と共催や合同で料理教室などのイベントを実施するなど幅広く連携を図ってきました。しかし、これまでの取組みは、日本人社会への働きかけによる、言わば内なる国際化でした。また、英語圏の文化や生活の紹介が中心でしたが、真の多文化共生・国際交流の推進には、近年増加している外国人住民への支援とアジア圏との交流活動が不可欠となっており、平成26年度からは、様々な国出身の講師をお招きして「多文化共生セミナー」を年数回単位で開催しています。</p> <p>現在、職場、家庭、学校等で色々な支援が行われていますが、言葉や生活習慣の違いなどにより地域社会から孤立しがちな人がいることも否定できません。「縁あってこの行橋のまちに住むことになった」人々に『行橋に住んでよかった』と実感してもらえるまちづくりを進めることが必要となっています。そのため、本市での生活を不安なくスタートさせ、安心して暮らしていくための支援を行うことが重要です。特に、外国人住民と地域住民とが地域で共生し、より良い人間関係を築けるよう、お互いの生活様式や価値観、文化・言語等について尊重し合い、理解し合うことが重要であり、「コミュニケーション支援」を重視した支援を積極的に展開することが求められます。また、ボランティア団体による日本語教室の受講生も増えており、在住外国人の皆さんが、安心して快適に暮らしていくための大きな支援となっており、今後も継続してその活動に取り組んでいくために支援が必要です。</p>
②	<p>市民のニーズに対応した事業を展開し、これまで以上に交流の輪を広げるとともに、市民団体やボランティア団体等の活動を支援し、幅広い視野を持った人材の育成及び在住外国人支援を図り、特に、アジアの一員であるとの自覚と視点を持った人材の育成に努めます。</p>

③	<p>主要施策名(1) 国際交流員の活用</p> <p>国際交流員を活用し、子供から高齢者までの幅広い世代を対象に広報活動を行い、市民レベルでの交流活動を促進します。また、スポーツ・文化を通じた交流を推進すると共に、今後も海外との交流を広げていきます。</p>
	<p>主要施策名(2) 市民主導の国際交流活動への支援</p> <p>スポーツや文化交流を通じたイベントなどの事業について、実施主体の民間団体が積極的に担えるよう支援を行い、地域活性化と人材育成を図ります。また、外国人支援を行うボランティア団体に対して国際交流員や職員を派遣し、その活動を積極的に支援します。</p>
	<p>主要施策名(3) 近隣自治体との連携強化</p> <p>福岡県内の国際交流員や外国語指導助手、国際交流を目的とした市民グループと連携し、イベント等の内容充実を図ります。また隣接する自治体と情報交換を積極的に行い合同イベント等を開催するなど、地域内の国際交流を促進します。</p>
	<p>主要施策名(4) 在住外国人への支援強化</p> <p>在住外国人への支援として、ホームページやパンフレットでの各種案内、公共施設でのサイン表示を外国語で行ったり、外国語に対応できる職員の採用や育成などを関係する各担当課と連携して取り組む。</p> <p>また、日本語教室などの在住外国人の支援を行うボランティア団体の支援及び育成を行う。</p>

④	指標名(単位)	基準値			過年度実績			評価年度	達成度の説明 (R3年度)
		H27年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
目標指標	国際交流イベントへの参加者数(人)	525	280	330	250	75	300 10	幅広い視野を持った人材の育成に努めることを目的しているが、コロナ禍ということもあり、大人数の参加者を募りイベント的な事業をするというよりは、コンパクトな住民ニーズを反映させた事業を計画した。	
	日本語教室等の交流活動参加者数(人)	80	80	80	90	10	90 160	日本語教室を通じて、外国人住民と地域住民が、お互いの生活様式や価値観、文化、言語等について尊重・理解し合うことを目的とする。	
	国際交流市民団体、ボランティア団体等の数(団体)	3	2	2	2	2	4 2	ボランティア団体の育成・支援を行い、在住外国人の支援を行う。	
	国際交流活動を行う団体の年間活動回数(回)	5	5	5	7	5	15 5	国際交流活動の回数を増やすことで、これまで以上に国際交流の輪を広げる。	
	外国語教室の参加者数(人)	110	110	240	120	35	200 50	多くの地域住民が、外国語を学ぶ機会を増やすことが、国際感覚と幅広い視野を持った人材の育成及び在住外国人の支援にもつながる。	

上段：目標値、下段：実績値

⑤	<p>主要施策名(1) 国際交流員の活用</p> <p>昨年度の事業進捗状況</p> <p>高校生から高齢者までの世代が参加できるイベント（インドネシア語教室、多文化共生セミナー等）を実施しました。しかし、昨年度もコロナウイルス感染拡大防止のため、一部のイベントの中止、参加人数の縮小を余儀なくされました。また、庁内における在住外国人の通訳、行政関係文書の翻訳に努めました。</p> <p>残された課題・今後必要な取り組み</p> <p>コロナウイルスの終息が絶対条件になりますが、国際交流員が、保育園・幼稚園等を訪問したり、高齢者施設の訪問をするなどして、言語をはじめ、様々な文化・習慣の違いなどに触れてもらう事業を行いたい。</p>
	<p>主要施策名(2) 市民主導の国際交流活動への支援</p> <p>昨年度の事業進捗状況</p> <p>日本語教室への参加を積極的に行い、在住外国人への語学指導やコミュニケーション支援を行った。また、ニューヨークグレースチャースクールとの絵画交流では、絵画の説明文を翻訳する作業などに支援を行った。</p> <p>残された課題・今後必要な取り組み</p> <p>市民主導の国際交流活動には、文化、スポーツ交流などを目的とした事業もあり、それらについても今後積極的に支援をしていきたい。</p>
	<p>主要施策名(3) 近隣自治体との連携強化</p> <p>昨年度の事業進捗状況</p> <p>昨年度は、コロナ渦でもあり、近隣自治体との連携等を行うことは自粛した。</p> <p>残された課題・今後必要な取り組み</p> <p>コロナウイルスの終息が絶対条件になりますが、隣接する自治体と情報交換を積極的に行い合同イベント等を開催するなど、地域内の国際交流を促進したい。</p>
	<p>主要施策名(4) 在住外国人への支援強化</p> <p>昨年度の事業進捗状況</p> <p>市内在住の外国人が多数参加をしている日本語教室への支援を積極的に行った。</p> <p>残された課題・今後必要な取り組み</p> <p>日本語教室に参加している在住外国人の様々なニーズをリサーチすることで、ニーズにあった在住外国人支援の事業を行い、在住外国人も含めた地域コミュニティづくりを行っていく。</p>
	<p>各主要施策の進捗状況及び課題等</p> <p>多言語対応型 生活・住環境アプリの開発と効果的な運用</p> <p>昨年度の事業進捗状況</p> <p>令和元年度より取り組んでいる「多言語対応型 生活・住環境アプリ」開発について、昨年度はゴミカレンダー機能を追加しました。その周知方法にLINEを活用したところ、飛躍的にダウンロード数が伸びました。</p> <p>残された課題・今後必要な取り組み</p> <p>日本語、英語、中国語（簡体字）、ハングル、ベトナム語の5言語に対応し、市勢要覧の概要版となっているため、日本人を含めた本市在住の外国籍の住民のニーズに応え、より使いやすいアプリとなるように改修を行っていきます。また、開発したアプリが効果的に作用するような関連整備も行っていきます。</p>
	<p>昨年度の事業進捗状況</p> <p>残された課題・今後必要な取り組み</p>

⑥	事務事業名	事務事業の内容	R2年度 総事業費 (実績値)	R2年度 (単位：千円)		R3年度 総事業費 (実績値)	R3年度 (単位：千円)		R4年度 総事業費 (見込値)	R4年度 (単位：千円)		優先順位
				事業費	人件費		事業費	人件費		事業費	人件費	
施策構成 事務事業	1	国際交流事業	2,708	2,708	0	3,111 2,837	2,748 2,550	363 287	3,041	2,748	293	2 2
	2	異文化セミナー運営事業	29	10	19	139 31	83 10	56 21	84	84	0	3 3
	3	多言語対応型「生活・住環境アプリ」開発事業	4,192	1,672	2,520	8,114 4,025	5,594 1,505	2,520 2,520	5,437	2,917	2,520	1 1
	4											
	5											
	6											
	7											
	8											
	9											
	10											
	11											
	12											
	13											
	14											
	15											

上段：見込値
下段：実績値

⑦	<p>新型コロナウイルスが終息することで、増えることが予想される「外国人労働者」と地域住民との関係構築も重要となり、在住外国人も含めた地域コミュニティの輪を広げることが求められていると考える。</p> <p>地域住民は、文化や言語を異にする人々と交流することで国内では得られない情報や経験を共有することができ、これからのグローバル社会で非常に重要であり、担当課としては従来事業にこだわらず、変化する市民のニーズに柔軟に対応した事業を展開する。</p> <p>在住外国人支援については、年々増加する市内の在住外国人の現状に対応するため、多言語対応型「生活・住環境アプリ」や本市で実施する様々な国際交流イベント等を充実させ、それらについては、ホームページ等の広報媒体以外にも、企業をととして情報提供を行うなど広く在住外国人へ周知する。</p> <p>また、国際交流を目的とした本市で活動をしている市民団体やボランティア団体等の活動を支援し、幅広い視野を持った人材の育成を行う。</p>
---	--

⑧	<p>総計画審議会からの意見及び指摘事項等</p>
---	---------------------------

施策評価シート《マネジメントシート》

施策名	人権・男女共同参画対策の推進			
施策の体系	基本目標	ひとを育むまち	施策の担当課名	人権政策課
	基本施策	心とからだ育成プロジェクト	関係課名	総合政策課
	施策コード	B-4-7	シート作成者名	

①	<p>人権とは、「人が人として生きる権利」であり、安心して生きる権利、自分で自由に考える権利、自由に意見を言う権利、仕事を自由に選んで働く権利、教育を受ける権利や裁判を受ける権利など、基本的に具体的な権利です。第5次行橋市総合計画後期基本計画策定に際して実施した市民意識調査では、住民の関心が高い人権問題として「障がい者に関する問題」「高齢者に関する問題」「子どもに関する問題」「女性に関する問題」「同和問題」が上位となっています。そのほかにもハンセン病やエイズの問題・LGBT・DVの問題・インターネット等による人権侵害に関する問題など様々な人権に関する問題があります。また、障害者差別解消法やヘイトスピーチ解消法の成立などにより、行政の対応として「教育・啓発・相談体制の整備など地域の実情に応じた施策に努めるものとする」とされており、本市では、人権の重要性を考え、様々な人権問題の解決を目指し、あらゆる場における人権教育・啓発の推進を図るため、市民の一人ひとりが、学校、家庭、地域及び職場などあらゆる場において人権尊重の心を育む学習を推進していくことが重要だと考えます。</p> <p>教育・啓発では、地域住民を対象とした講演会・人権セミナーや公民館講座、地域のリーダーや教員、福祉関係者等を対象とした指導者研修会、企業・事業者を対象とした企業体研修などを行っています。研修事業の充実のため子育て世代や高齢者など年代に合わせたテーマを設定する等、参加者のニーズに応じた研修会を企画し、参加してよかったといってもらえる研修を実施することで、人権について考える機会となるようにしていくことが必要です。</p> <p>男女共同参画の推進については、依然として男女の役割を性別によって固定的にとらえる考え方や習慣が残っています。男女が社会のあらゆる分野で対等に参画し、共に支え合い、認め合う社会を築くため、男女共同参画センター「るーぶる」の事業の充実や、平成27年策定の「第3次行橋市男女共同参画プラン」や平成27年9月施行の「女性職業生活における活躍の推進に関する法律」に基づいた取組みを推進していくことが必要です。また、少子高齢化が進む昨今、ワークライフバランスの啓発など男女共に働きながら育児等を行える環境を構築することも必要です。なお、令和2年度から平成27年策定の「第3次行橋市男女共同参画プラン」の後期計画（令和2～6年度）が施行されていますので、2つの重点項目「市民への広報・啓発活動の推進」「DV相談・支援体制の充実」について積極的に実効性の高い取組みを進めていきます。</p>
②	<p>すべての市民の基本的な人権が尊重され、平和で明るく生き生きと暮らせるまちづくりを目指し、人権教育及び啓発の充実、差別意識の解消のための施策を推進します。</p> <p>「第3次行橋市男女共同参画プラン」に基づく「ともに支え認め合いだれもが活躍できるまちゆくはし」を目指します。</p>

③	<p>主要施策名(1) 人権問題に関する教育・啓発等の推進</p> <p>人権意識の向上、差別の解消のため、思い込み・因習・慣習から差別することのないよう広報誌の発行、街頭啓発に努めるとともに、様々な人権課題について研修会を開催し、情報提供に努めます。</p>
	<p>主要施策名(2) 人権問題に関する相談体制の充実</p> <p>相談内容が多様化しており、福祉や教育等の関係部署との連携を図るとともに、人権問題に携わる関係団体や法務局などと連携し、相談に応じられる知識の習得や体制を構築します。</p>
	<p>主要施策名(3) 第3次男女共同参画プランと女性参画の推進</p> <p>各所管課との連携を図り、施策の充実を図ります。また、女性人材バンク等を活用して、審議会などへ登用する女性委員の目標を4割に設定し、政策・方針決定過程への参画を推進します。なお、令和2年度から「第3次行橋市男女共同参画プラン」（後期計画・令和2～6年度）が施行されますので、意思決定の場への女性の参画が進むように広報・啓発活動を推進していきます。</p>
	<p>主要施策名(4) 男女共同参画センターの充実</p> <p>男女共同参画を推進するための拠点機能を充実させるため、男女共同参画センターにおいて、各種講座等の開催や団体交流支援等を行い、市民に広く開かれた拠点となるよう努めます。</p>
	<p>主要施策名(5) 民間事業者への意識啓発と男女共同参画条例のさらなる周知徹底</p> <p>市登録業者における「男女共同参画推進状況に関する届出書」の提出等を通じ、男女共同参画条例だけでなく、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」の取組み推進のための啓発を進めます。</p> <p>また、男女共同参画を推進する日・月間に広く啓発を行うなど、「行橋市男女共同参画を推進する条例」のさらなる周知徹底を図ります。</p>

④	指標名(単位)	基準値	過年度実績					評価年度	達成度の説明 (R3年度)
			H27年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
目標指標	市民講座(コスモス人権セミナー・公民館出前講座)の参加者数(人)	315	297	334	298	114	340	令和3年度は、コロナ禍によりコスモス人権セミナーが2回(予定は3回)しか開催できず、公民館出前講座は3回予定していたが全て中止。その結果、目標の4分の1の人数しか、参加してもらうことができなかった。	
	企業・事業者からの人権研修会参加者数(人)	168	174	151	156	0	160	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、企業体人権・同和研修を中止にせざるを得なかった。	
	DVに関する啓発・防止のための中学校への予防教室の実施回数(回)	1	1	2	2	0	累計6	行橋高校にてDV予防教室を実施した。(1年生児童134名参加)	
	審議会などの委員の女性委員の割合(%)	22.5	22.1	24.1	24.7	26.8	40	令和3年度の取組み成果をR4.4.1時点の割合で達成度を確認する。女性委員の新しい人材登用はあるものの、全体としては審議会等の女性委員の登用率が向上していない。	
	市職員の女性管理職の割合(%)	9.5	10.3	11.9	11.9	11.5	15.0	令和3年度の取組み成果をR4.4.1時点の割合で達成度を確認する。平成29年度から管理職候補の係長職増加のための職員研修を実施している。令和3年度の実績としては、前年に比べ減少となった。	

上段：目標値、下段：実績値

④	指標名(単位)	基準値	過年度実績					評価年度	達成度の説明 (R3年度)
			H27年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
目標指標	市男性職員の育児休業取得率(%)	3.8	0.0	6.7	0.0	0.0	13.0	令和3年度中の新規対象者数と取得者数で割合を確認。女性職員の取得は100%であり、男性職員は取得者3名であった。	
	男女共同参画センター登録団体数(団体)	10	11	11	9	9	15	令和3年度の取組み成果をR3.1.1時点の団体数で確認。前年度と同数であった。	

⑤	<p>主要施策名(1) 人権問題に関する教育・啓発等の推進</p> <p>昨年度の事業進捗状況</p> <p>7月の人権・同和問題啓発強調月間記念講演会は、コロナ禍のため中止になったが、12月の人権週間記念講演会は入場者を定員の半数200名に制限し、録画配信をする等の工夫を凝らして実施した。来場出来ない方のために録画配信を行ったが、行橋市HP上の限定配信で視聴回数は377回を記録し、ある程度の情報発信効果は上がったものと考えている。また、令和2年度から市職員及び市内小中学校教職員向けに人権啓発紙「令和きらめき」を発行し、研修会の内容をお知らせした。</p> <p>残された課題・今後必要な取組み</p> <p>公民館出前講座を行橋校区及び行橋南校区で各1回実施し、参加者に好評であったため、引き続き公民館等と連携し、啓発効果の高い講座を実施できるように努める。また、人権講演会のネット配信には、今後も継続して取り組む必要性がある。</p>
	<p>主要施策名(2) 人権問題に関する相談体制の充実</p> <p>昨年度の事業進捗状況</p> <p>DV等の被害者の女性相談については、福祉部門等の関係課とよく連携をとり、相談者の不安の解消に努め、適切に対応することができた。</p> <p>残された課題・今後必要な取組み</p> <p>人権啓発推進及び相談員を設置し、部落差別をはじめとしたあらゆる人権課題の啓発や相談に対応できるよう、人権相談員研修等を受講して知識の習得・能力の向上を図る。また、人権団体や法務局との連携を密にとり、相談体制の充実を図る。</p>
	<p>主要施策名(3) 第3次男女共同参画プランと女性参画の推進</p> <p>昨年度の事業進捗状況</p> <p>平成29年度よりプランの進捗状況についてホームページで公表を始めた。また、市審議会等への女性委員の登用率及び市女性管理職の割合は停滞している。</p> <p>残された課題・今後必要な取組み</p> <p>市審議会等への女性委員の登用率は、伸び悩んでいる状況である。引き続き粘り強く関係各所への働きかけを行う。また、市女性管理職の割合は前年比に比べ減少。関係各所と中堅・若手職員のモチベーションアップ対策を検討しながら、女性管理職の増加を図る。</p>
	<p>主要施策名(4) 男女共同参画センターの充実</p> <p>昨年度の事業進捗状況</p> <p>平成28年度から、男性向け家事・育児参加講座を毎年継続して実施している。対象を男性のみとすると、受講者が集まりにくい。夫婦での参加、女性の参加も可能とするなど工夫している。</p> <p>残された課題・今後必要な取組み</p> <p>男性向けの講座を年2回程度開催しており、複数回参加している方もいるため、参加者同士の交流の場となるように工夫していきたい。また女性団体における若年層の人材確保に向けて、地域で活動しているママサークル等を取り込めるように工夫していく。</p>
	<p>主要施策名(5) 民間事業者への意識啓発と男女共同参画条例のさらなる周知徹底</p> <p>昨年度の事業進捗状況</p> <p>コロナ禍のため、事業者向けの「ワーク・ライフ・バランスセミナー」は中止となった。</p> <p>残された課題・今後必要な取組み</p> <p>講演内容やオンライン配信など、コロナ禍においても気軽に情報に触れる機会の創出などの検討を引き続き行っていく。</p>
	<p>昨年度の事業進捗状況</p> <p>残された課題・今後必要な取組み</p>

⑥	事務事業名	事務事業の内容	R2年度 総事業費 (実績値)	(単位：千円)		R3年度 総事業費 (実績値)	(単位：千円)		R4年度 総事業費 (見込値)	(単位：千円)		優先順位
				事業費	人件費		事業費	人件費		事業費	人件費	
1	人権啓発強調月間事業	福岡県独自の取組みとして毎年7月を同和問題啓発強調月間と定め、人権に関する教育・啓発を実施し市民の人権意識の高揚を図る。	2,215	255	1,960	2,984	1,094	1,890	3,058	1,098	1,960	5
						2,479	519	1,960				5
2	人権週間事業	世界人権宣言採択により毎年12月10日の人権デーを最終日とする1週間を人権週間と定め人権尊重思想の普及高揚の為啓発を行う。	2,115	505	1,610	2,834	1,224	1,610	2,846	1,236	1,610	6
						2,153	543	1,610				6
3	各種人権研修会開催事業	人権セミナー等の講座で人権啓発を行うと共に、担当職員が講座の主催等に資するため、人権研修に参加する。	2,110	220	1,890	3,225	1,335	1,890	3,228	1,198	2,030	7
						2,284	254	2,030				7
4	研修会等参加助成金交付事業	人権啓発や事業等の実績のある団体に、大会、研修会等への参加費を助成し、関係者の意識醸成や指導者となる人材の育成を図る。	1,428	938	490	5,075	4,515	560	4,775	4,215	560	8
						2,046	1,486	560				8
5	人権啓発冊子作成事業	差別や偏見による様々な人権侵害が発生し、人権問題も多様化・複雑化している為、人権問題に対する正しい理解と認識を深める。	3,945	1,915	2,030	4,119	2,019	2,100	4,211	2,041	2,170	3
						4,109	1,939	2,170				3
6	人権擁護事業	部落差別、障がい者、女性等のあらゆる差別をなくすための特設人権相談所の開設、人権擁護委員協議会への助成を行う。	1,139	369	770	1,144	374	770	1,144	374	770	12
						1,139	369	770				12
7	婦人保護事業	女性が夫や恋人など身近な立場の男性から受ける様々な暴力行為、肉体的暴力、言葉の暴力・性的暴力等から女性の保護を行う。	5,414	4,644	770	5,780	5,010	770	5,710	5,010	700	4
						5,455	4,755	700				4
8	母子生活支援施設措置事業	DV被害に遭った母子を保護する施設に対して補助を行う。	13,827	13,057	770	23,450	22,680	770	23,338	22,638	700	11
						15,016	14,316	700				11
9	地域人権啓発活動活性化事業	児童に人権の花「ひまわり」を育ててもらい、「一つのを育てる共同作業や思いやりの心をもつ大切さ」を身につけさせる。	957	47	910	962	52	910	1,036	126	910	19
						962	52	910				19
10	男女共同参画センター運営事業	男女共同参画を推進するための拠点としてのセンター機能の整備及び充実に図る。	7,647	5,547	2,100	8,701	6,951	1,750	9,775	7,815	1,960	1
						7,976	6,296	1,680				1
11	るーぶるフェスタ開催事業	男女共同参画センターの名を周知するとともに、男女共同参画についての広報・啓発を行う。	350	0	350	946	246	700	665	175	490	20
						420	0	420				20
12	福岡県女性の翼助成事業	地域で活躍している女性を研修へ派遣し、国際的視野を持ち活動できる人材を育成する。	350	0	350	350	0	350	210	0	210	16
						210	0	210				16
13	男女共同参画ネット助成事業	男女共同参画社会の実現を目的とした事業を行っている参画ネットに対し助成する。	1,150	100	1,050	1,100	400	700	610	400	210	9
						610	400	210				9
14	男女共同参画市民企画事業助成事業	男女共同参画に関して市内で活動する市民団体及び自主グループの育成・支援を行う。	1,429	29	1,400	820	120	700	960	120	840	10
						930	90	840				10
15	人権教育推進事業	人権啓発図書を購入や、各種協議会負担金の助成を行い、人権教育の実践に役立てる。	432	12	420	432	12	420	432	12	420	18
						432	12	420				18
16	人権教育研修事業	担当職員が人権研修会に参加し専門知識を身につけ、様々な人権問題の解決に役立てる。	546	56	490	703	143	560	630	70	560	17
						592	32	560				17
17	県奨学金返還事業	経済的理由で就学困難な者に貸付けた奨学金の返還事務につき県より委託を受けた事業。	562	72	490	557	67	490	542	52	490	15
						535	45	490				15
18	就業支援講座事業	女性の就業支援事業。福岡県と連携し就職したい女性のために、資格取得のための講座開催と就職支援を行う。	2,098	348	1,750	1,186	486	700	1,341	501	840	2
						1,227	387	840				2
19	住宅新築資金等貸付事業	同和対策事業で貸し付けた住宅新築資金等を回収する事業	1,788	38	1,750	1,791	41	1,750	1,722	42	1,680	14
						1,701	21	1,680				14
20	第3次男女共同参画プラン後期計画策定事業	第3次行橋市男女共同参画プラン（計画期間は平成27年度からの10年間）の中間年度にあたる令和元年度に社会情勢等の変化を考慮し、見直しを行う。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
						-	-	-				-
21	人権啓発推進及び相談事業	部落差別をはじめとした、あらゆる人権課題の啓発及び相談に関する事業の充実に図る	2,595	2,035	560	2,669	2,109	560	2,669	2,109	560	13
						2,669	2,109	560				13

上段：見込値
下段：実績値

⑦
施策全体の今後の方針と展望
人権問題について、部落差別解消推進法やヘイトスピーチ解消法、障害者差別解消法の施行、子どもの貧困問題、高齢者に対する詐欺、LGBTなど社会生活の中で住民の関心が高まっている。情報進展により急速な情報拡散や差別の助長となる書き込み等インターネットの利用について、人権を守るための課題として取り組む必要がある。社会情勢の変化を踏まえ、講演会、研修会、人権リーフレット等、啓発及び情報発信に努め、人権が尊重され、誰もが住みよいまちづくりに取り組んでいきたい。男女共同参画については、市民への意識づくりはある程度すすんでいると思われるが、それが市管理職割合や審議会委員割合等、指標の数値等には反映してきていない。

⑧
総合計画審議会からの意見及び指摘事項等